

メッセージ

「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに、「原水爆禁止2019年世界大会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

私たち日本国民にとって、決して忘れることのできない広島・長崎への原爆投下、今も続く被爆者の方々の苦しみは、核兵器の廃絶なくして人類の未来はないことを私たちに示し続けています。

我が国では、敗戦という悲惨な経験と、世界唯一の核被爆国として、戦争を絶滅する悲願をもって平和憲法が制定されました。

この悲願は、私たち日本人によって達成させなければならないと信じておりますし、非核三原則を守り、平和な日本、ひいては平和な世界を築くために、核廃絶、戦争絶滅の旗印の下に歩み続けなければなりません。

当町においても、みどり豊かな自然を守り、世界全人類の恒久平和と幸福を願い、昭和61年3月に「平和都市宣言」をしたところでもあります。

また、毎年8月15日を「平和祈念の日」とし、町民あげて1分間の黙祷をささげ、恒久平和の願いを新たにしているところでもあります。

一人ひとりの歩みは小さなものであっても、それが多くの人々に引き継がれることによって大きな歩みとなり、さらに大きな輪となって国の内外に広まっていくことを期待するものであります。

ここに、改めて皆様方の長年のご活動に対し、敬意と感謝を申し上げ、併せてご盛會を祝し、メッセージといたします。

令和元年6月吉日

山形県最上町長 高橋 重美